

信徒講座：宣教の使命に生きる③

V. 教会史に見る宣教実践(2世紀から近代まで)

1. 初期教会の宣教(2, 3世紀)

- ・ **範囲**:ローマ世界、印度、欧州北部に及び、2世紀末には、帝国中の約1割がクリスチャンに
- ・ **主な宣教者**:イグナティウス、ユスティヌス、エウセビウス、ポリュカルポス、グレゴリウス
- ・ **迫害と困難**:ローマ帝国はキリスト教を迫害したが、宣教は進展した

2. 初期ヨーロッパ宣教(4~11世紀)

- ・ **コンスタンティヌスの回心(313)**によってローマ帝国における迫害が止んだ
- ・ **宣教活動**:ウルフィラスはゴート語聖書翻訳を行う。マルティヌスはゴール地方で多くの回心者を起こす。パトリックはアイルランドに多くの教会を建て、コロンバはスコットランドで修道院を建てた。アウグスティヌスはイングランドで、ボニファティウスはドイツ・オランダで多くの受洗者を獲得。アンスカールのスカンジナビア伝道、オーラフのノールウェー伝道等、欧州のキリスト教化はこの時代になされた。

- #### 3. 東方教会の宣教(9世紀以降)
- :ローマ帝国東西分裂(395年)により教会も東西に分かれた。1054年ローマ・カトリック教会から分かれたギリシア正教は独自の道を進んだ。9世紀末、キュリロスとメトディオスはスラブ伝道を行い、19世紀、ニコライ・イリミーンスキーはタタール人伝道を行なった。彼は函館・東京で伝道した。ネストリウスとその弟子達は、6世紀以降インド、アラビア、トルコ、中国で伝道し教会を建てた。中国では「景教」として確立された。

4. カトリック教会の宣教(11~16世紀)

- ・ **十字軍の戦い**:11~13世紀、十字軍の戦いの最中、ライムンドゥス・ルルスは、イスラム教徒の中心地チュニスで伝道した。何度も投獄され、80歳の時石打で殉教した。
- ・ **フランシスコ会の中国宣教**:13-14世紀、フランシスコ会のジョヴァンニは、中国元王朝の許可を得て北京に三つの教会を建て、6千人の改宗者を得た。
- ・ **植民地支配との連動**:新大陸発見を契機として、新大陸の植民地支配に連動して、スペイン、ポルトガル等の王達は、「宣教」活動を応援してその植民地支配を強化した。
- ・ **修道院運動**:形式主義に陥ったカトリック教会に霊的な命を吹き込む修道院活動は、宣教活動に燃えるイエズス会を生み、イグナティウス・ロヨラ等の修道士達は、インド、中国、日本、フィリピン、アフリカ、メキシコ、カナダ等「新世界」への宣教を試みた。
- ・ **ザビエルによる日本宣教**:16世紀、ザビエルは、日本文化・習慣を尊重した伝道方法で成果を上げ、最盛期には60万人の信徒を獲得した。彼は中国宣教をも試みたが開かれず、船上で病死した。その志を受け継いだマテオ・リッチは、中国宣教を進め教会の土台を据えた。